

地域を愛し地域とつながる子どもに

校長 嶋見 靖之



コスモスの花が咲き秋風に揺れています。10月になりました。令和2年度の後半が始まります。

1日（木）2日（金）の2日間、6年生は会津若松方面へ修学旅行に行きました。新型コロナウイルス感染が心配される中、保護者の皆様のご理解をいただき実施できました。おかげで児童にとって思い出に残る旅行となりました。飯盛山や野口英世記念館などの見学を通して

歴史に関心を寄せられたこと、通りすがりの修学旅行生に「こんにちは」と声をかける姿、生活を自分達で作っていかうとする姿など、学びの多い旅行でした。

さて、報道で紹介がありましたが、6年生は総合的な学習の時間で佐渡をアピールするメッセージを考え、北沢浮遊選鉱場跡で行われた「KITAZAWA メッセージプロジェクト」に応募しました。このメッセージは地域の方からの講話がもとになっています。例えば、7月には地域おこしに取り組んでいる方から「相川へ旅行に来る人、リピーターを増やしたい。そのために、旅行に来た人に話しかけて友達になる。仲良くなる。そうすることが佐渡をつくっていくこと。」とお話をいただきました。

6年生はこれまで、総合的な学習の時間を中心に、相川の伝統的な芸能や文化、自然などを学んできました。「相川学」と名付けています。今回のメッセージは6年間の学びを通して感じた思いや願いの表れでしょう。

また、5日（月）には、児童会環境委員会を中心に、世界遺産登録を目指す相川をよりきれいにするために全校でクリーン作戦を展開しました。学年ごとに担当区域を決め、ご家庭の皆様の協力をいただきながらゴミ拾いなどに取り組みました。

このように、家庭・地域の協力をいただき、相川や佐渡の「ひと・もの・こと」とかかわらせながら、地域を愛し地域とかかわる子どもを育ててきたいと考えています。

【展覧会(10月25日開催)、1日フリー参観・学習発表(10月30日開催)について】

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場をご家族のみとします。地域の皆様の入場はご遠慮ください。なお、例年の相小祭は行いません。

※ 新型コロナウイルスについての文部科学大臣メッセージ全文は4ページに掲載しています。